

コロナの休校で、「勉強が心配」という相談を受けました。
「何を学習されてますか」と聞くと、学校の課題であるドリルと漢字。
「読書をすすめても習慣が育っていないのでゲームばかり」と心配そうでした。

そこで、思いついたのが、メールとLINEです。
ドリルと漢字、ゲームの子に、いきなり、むずかしいことはできません。
それに自分で勉強をする習慣もだいじです、

そこで、詩をメールでおくりました。八木重吉さんの詩です。

<先ず、ノートに写し、LINEで写真を届けてもらう。()言葉を一つと
決めないで複数以上書く。その理由も。>

LINEやメールは間が持てるので、結構、考える時間がもうけられました。

手元の詩を、お母さんメールで送り・写す・()を考える。理由を書く
という方法がわかり、教科書の文章も少し自分で読むようになったそうです。

「考える時間がある」というのは、貴重です。

(詩については令和2年4月25日のブログに掲載しています)